

米国ホスピタル・ベースド・タッチセラピー関連講座

“今・ここ”に寄り添う Gentle Touch の実践
 統合医療の先進地域 米国サンフランシスコの医療現場に倣う

▶ホスピタル・ベースド・マッサージ(HBM/Hospital Based Massage)とは?

米国の医療環境下の様々な状況に応じて発展してきた一連のマッサージ・セラピーの総称です。良質なHBMは、安全かつ効果的そして持続可能な形で、がん・脳神経障害・心臓疾患・緩和ケアなど、個々の患者や病院全体の複合的な状況に応じて提供されます(日本ではマッサージ・セラピーをタッチ・セラピーと表記します)。

2015年秋の、キャロリン・ターグ先生来日講座では、『がん』と、『脳卒中や事故等による脳神経後遺症状』と共に生きる方への2つのタッチセラピーに関する講座を開講します。

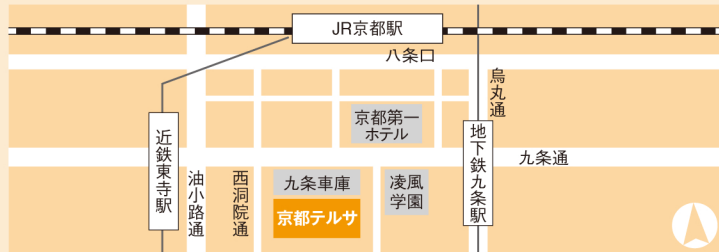
がんを生きる人々へのタッチセラピー Oncology Touch Therapy レベル1

認定オンコロジー・タッチセラピスト養成講座

日時 **10月31日(土)~11月3日(火)祝**
 10/31のみ**13:00-17:30**, 11/1~3は**10:00-17:30**

受講料 **10万8,000円**(9月10日以降のお申込みは5,000円増しの11万3,000円)

会場 **京都テルサ(京都府京都市 JR京都駅南徒歩15分)**



講座の概要

- 4日間(初日は半日)、合計 24 時間
- オンコロジー(がん・腫瘍学)・タッチセラピーの概要
- 一般的な治療法とその副作用、がんとリンパ組織について
- 禁忌や、施術上での体位・圧・ペース等の指標
- 問診とアセスメント、施術プランの立て方
- デモと実技実習(交換セッション)

特徴

- いずれのクラスも、上記の講座内容の座学に加え、マッサージ・テーブルを使用するデモと実技実習で構成されます。通訳・日本語テキスト&資料付。
- 施術法は、病院の過剰にストレスのかかる環境下での、患者の不安と苦痛を緩和・サポートする、安全で穏やかな関わりが特徴です。(着衣の上からや、ローションを使った地肌へのタッチ等)
- 最終日にはそれぞれの病歴の方をお招きしての実技研修があります。
- 講座終了後、筆記試験等の所定のプロセスを経た後、各認定タッチ・セラピストとしての修了証が発行されます。

脳卒中や事故等による脳神経後遺症状と共に 生きる人々へのタッチセラピー Touch Therapy for People Living with Neurological Challenges

認定ニューロ・タッチセラピスト養成講座

日時 **11月6日(金)~8日(日) 9:30-17:30**

受講料 **9万2,000円**(9月10日以降のお申込みは5,000円増しの9万7,000円)

会場 **梅小路公園内 緑の館(京都府京都市 JR京都駅東へ徒歩25分)**



講座の概要

- 3日間、合計 21 時間
- 脳・神経に関する解剖学的理解
- 脳神経後遺症の原因やその症状に関する知識
- 日常生活の行動に影響を及ぼす二次的疾患についての理解
- 問診とアセスメント、施術プランの立て方
- デモと実技実習(交換セッション)

受講料・定員

- 2講座受講の場合、それぞれの講座料から5,000円をお値引いたします。
- 分割でのお支払い、対応いたします。詳しくはお問い合わせください。
- お振込み先は、お申込み後に送付する『講座詳細』でお伝えいたします。
- 受講料のお振込みをもちまして、参加申込完了とさせていただきます。
- 定員16名(定員になり次第締め切ります)。

対象者

- 医師・看護師・理学&作業療法士、鍼灸マッサージ師、ボディワーカー、セラピスト他(本講座はカリフォルニア州認定マッサージ・セラピストの上級講座として位置付けされます)

詳しくは、ホームページをご覧ください。 <http://touchcaresupport.com/>

主催

NPO法人タッチケア支援センター ~やさしくふれると世界は変わる~

お問い合わせ

office@touchcaresupport.com ☎ 06-4967-9839

キャロリン・ターグ氏

Carolyn Targue

プロフィール

米国カリフォルニア州認定マッサージ・セラピスト。ホスピタル・ベイスド・マッサージ、オンコロジー・マッサージ認定セラピスト&認定指導教員。統合医療の先駆的エリアであるサンフランシスコで、Hospital Based Massage (医療機関におけるマッサージ・セラピー) のセラピストとして、医療現場で実践に従事するとともに、医療環境内外での代替・補完療法の専門家として活動する。特に成人および小児科でのがん患者や、脳卒中や事故等での脳神経後遺障害者へのマッサージ・セラピーを専門的に追求し、マッサージ・セラピストの教育プログラムの充実にむけて、国際的に活躍中。病院の過剰なストレス環境での患者の不安・苦痛の緩和と、患者とのつながりを大切に、今・この気づきと共に在る、心のケアに注目する。また、クラニオセイクラル・セラピー、ローゼン・メソッド、レイキなどの手法に、グリーフ(悲嘆)ケアもとりいれ、ボディ&マインド&スピリットへのかかわりを通じて医療におけるマッサージ・セラピーを構築することを、自身の教育者としての役割として位置づける。ACCAHC(代替補完医療学術コンソーシアム)会員。



職歴

カリフォルニア州サンフランシスコ市のパシフィック・メディカル・センター、スタンフォード大学ルシル・バックード子ども病院小児がん病棟勤務。現在、『神様のホテル-奇跡の病院で過ごした20年間-』(著者:ヴィクトリア・スウィート【毎日新聞社】)の舞台で有名な、サンフランシスコ市のラグナホンダ病院(Laguna Honda Rehabilitation center)に拠点を移し活動中。

「2015年1月 第一回オンコロジー・タッチセラピー」受講生の声



期待以上でした。今回学んだことは知っておくべきことのほんの一部だと思いますが、がん患者ケアについて不安に思っていた事柄がクリアになりました。

キャロリン先生はジェントルタッチ(ソフトでやさしいタッチ)を手取り足取り懇切丁寧に教えてくださったのですが、おかげさまで自分のタッチの質が大きく変化したことを感じます。早速元がん患者さんやむくみのひどい方や血栓の疑いのある方への対処の知識を参考にしています。

「害を与えないケア」という言葉のイメージが、「制約の多い:消極的なケア」から「害を与えることなく患者さんをサポートできるより広い可能性を持つケア」へとポジティブに変化していきました。

オンコロジー・タッチセラピーの施術をご体験されたがん患者様の声

施術して頂きましたが、指先、手のひら、すべてから優しさを感じました。サバイバーとしても、人としても、大切に向き合っているのが伝わって、心もからだも癒されました。体中がポカポカしています。

とてもリラックスできて、気分がよくなりました。痛みが8割程度取れました。月に2・3回程度受けれたらどんなにいいでしょうか。

とても気持ちがよかったです。体・全体がリラックスできた感じです。これが本当の手当だと思います。もっと皆さんに広めてあげたいです。



*個人のご感想です。

米国ホスピタル・ベイスド・タッチセラピー関連講座

FAX 06-6421-9752

ご希望の講座名に○をつけていただき、下記必要事項をご記入のうえ、ファックスにてお申込みください(ホームページからお申込みできます)。

お申込み後、「講座詳細」をメール、あるいは郵送でお送りいたします。

なお、どちらの講座も定員に達し次第、受付を締め切らせていただきます。お早目にお申込みください(早期割引期日は9月9日迄です)。

ご希望の講座	講座名		
	がんを生きる人々へのタッチセラピー/認定オンコロジー・タッチセラピスト養成講座		
	脳卒中や事故等による脳神経後遺症状と共に生きる人々へのタッチセラピー/認定ニューロ・タッチセラピスト養成講座		
フリガナ お名前		電話	
ご住所	E-mail : _____ @ _____		
資格・経験 所属等			
この講座を知ったきっかけ	<input type="checkbox"/> 友人 <input type="checkbox"/> HP <input type="checkbox"/> チラシ <input type="checkbox"/> DM <input type="checkbox"/> その他()		
この講座で学びたいこと			